

1級製図R6合格するぞ【製図講座の全体工程】2024年6月1日

## R6製図解説は以下の工程である

7/27(土): R6製図課題の所見

8/12(月): 1回目予測課題

8/19(月): 1回目予測課題の解答

8/26(月): 2回目予測課題

9/2(月): 2回目予測課題の解答

9/9(月): 3回目予測課題、計画の要点まとめ(丸暗記)

9/16(月): 3回目予測課題の解答

9/23(月): 合格するためのR6総括(重要)

研究会の予測課題  
は、3課題で本試験  
の80%以上の中  
している

建築資格研究会: [www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

令和6年の研究会の製図解説は、以下の予定です。

研究会の予測課題は、毎年3課題であるが、その3課題で本試験に対して80%以上が的中しています。

7/27(土): R6製図課題の所見

8/12(月): 1回目予測課題

8/19(月): 1回目予測課題の解答

8/26(月): 2回目予測課題

9/2(月): 2回目予測課題の解答

9/9(月): 3回目予測課題、計画の要点まとめ(丸暗記)

9/16(月): 3回目予測課題の解答

9/23(月): 合格するためのR6総括(重要)

# R6も80%以上の中する予測課題を目指す R5予測3課題は80%的中した（検証結果はHP公開中）

【令和5年度 設計課題：図書館】

2023.10.26

## 本試験課題と予測課題との比較検証

### 【検証結果】

- ・本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証を、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
- ・表1に示すように、課題（図面）で予測できなかったのは、ワークルーム、セミナールーム、審判指定なしである。名称は若干異なるが、企画展示は郷土資料室、セミナールーム(2分割)は学習室(2分割)の予測が類似課題として解けた。一般図書スペース、児童図書スペース、閉架書庫は、すべての中しているが冊数が多少異なった。
- ・その他として、要求室ではないが、今年は、北側斜接が予測できなかった点である。
- ・表2に示すように、課題（計画の要点等）で予測できなかったのは、蔵書数およびユニバーサルデザイン、はと小使、閉架書庫の構造計画であった。
- ・表1と表2からも明らかのように、令和5年の図書館において、研究会の予測3課題は、80%以上の中したと判断できる。

表1 課題（図面）の比較検証

各校	課題名	建設用地				敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	階数	用途	敷地面積				建築面積				図書	その他	車いす (台)	自転車 (台)	備考			
		幅	縦	深	計					以上～以下	東	南	西	北	図書	学習	作業						休	1階	2階
本試験	R5課題	1,480	48	33	3階	自由	—	自由	雑用	図書	図書	図書	図書	400㎡ 300㎡	150㎡	学習 21室	作業 150㎡	ワーク 100㎡	カフェ 50㎡	図書 100㎡	閉架 100㎡	ポンプ室、消火ポンプ室、屋上空調・電気設備	2	20	部門別区分なし、主簿別帳
研究会	予測課題1	1,496	44	34	3階	1,800	—	2,000	雑用	図書	図書	図書	図書	200㎡ 200㎡	40㎡	2室 4室	作業 (共)	—	—	カフェ 40室	—	空調室、ポンプ室10㎡、屋上空調・電気設備	2	20	その他部門(保安部門)、3階地盤下、既存舗装
	予測課題2	1,700	34	50	自由 3階	自由	—	自由	図書	図書	図書	図書	図書	200㎡ 200㎡	80㎡ 80㎡	40㎡ 40㎡	作業 (共)	雑土 40㎡	—	200㎡	—	R1設備(交水機、ポンプ室、電気室)、空調設備室、アーム室等	1	30	その他部門(広域各部門)、遊戯設備、収容者
	予測課題3	1,800	50	34	3階	2,500	—	3,000	雑用	図書	図書	図書	図書	200㎡ 100㎡	—	30㎡ 30㎡	作業 30㎡	—	200㎡	—	空調室、ポンプ室20㎡、電気室40㎡	1	40	その他部門(後援部門)、遊戯設備、収容者	

表2 課題（計画の要点等）の比較検証

(1)	本試験の課題内容	研究会（計画の要点等まとめ）の検証結果
(1)	① 閉架スペースについて、次の①、②の観点から配論したこと ① 蔵書数の確保及び遊学等のユニバーサルデザイン設備及び周辺条件（自然採光の活用を含む）	1-1 閉架室のフロア計画、1-11-1 閉架スペース及び児童図書スペースの配置の整理について考慮したこと ① 蔵書数およびユニバーサルデザイン
(2)	② 蔵書の機能領域、配置・動線計画について、次の①、②の観点から配論したこと ① 閉架スペース、児童図書スペース及び全開架スペースにおける多世代の交流、交流促進の研究管理	1-1 閉架室のフロア計画について考慮したこと、1-2ゾーニング計画について考慮したこと
(3)	③ 閉架スペースに採用した空調方式、採用した理由及び配論したこと 採用した空調方式、採用した理由及び配論したこと	3-4 設備計画のポイント(空調、電気)、3-10空調機設置(単一ダクト方式)の空調計画
(4)	④ 屋上等に設置する設備（①太陽光パネル、②エネルギー貯蔵、③設備配管取出し口(はと小使)、④空調室外機等)の配置計画において考慮したこと	予測課題およびユニバーサル設計で屋上設備設置(はと小使)
(5)	⑤ 収容者に対する安全確保及び災害発生時の対応と避難誘導の観点から配論したこと	4-2 設備計画の避難負荷軽減、4-3 設備計画の避難負荷軽減
(6)	⑥ 建築物の材質や施工方法等において、二階を従来の柱出屋間隔について考慮したこと	4-1 避難負荷軽減の二階を従来の柱出屋間隔
(7)	⑦ 建築計画の概要計画について ① 閉架スペースの扱いや構造的特徴、② それを踏まえて考慮したこと	閉架室等の構造計画(全体の構造計画があり、そこからある程度は推定可能)

研究会は、令和6年も予測課題が80%以上の中するために全力を尽くします。

下表、令和5年の研究会の予測3課題は、この3課題だけで80%以上の中しました。

この表は、研究会のホームページで公開しています。

**資格学校へ通学すれば合格できるのか？**

**資格学校(S社・N社)の合格が約9割**

製図試験の合格者の占有率は、大手資格学校(S社、N社)が約9割を占める。平成27年の製図合格者(3,774名)のうち、大手資格学校の合格占有率は、S社57%(2,149名)、N社30%(1,145名)、その他13%(480名)である。

近年、合格者を公開していないが、ほぼこの傾向に近い数値と推定している。

製図試験の合格者の占有率は、大手資格学校(S社、N社)が約9割を占めます。

平成27年の製図合格者は、3,774名であり、そのうち、大手資格学校の合格占有率は、S社が57%(2,149名)、N社が30%(1,145名)、その他が13%(480名)です。

近年、合格者を公開していないが、ほぼこの傾向に近い数値になっていると推定します。

## 資格学校(S社・N社)の合格率は約33%と推定

近年、製図試験の合格率は、約33%です。全体の約9割がS社N社の合格者であり、合格率33%なら両社の合格率も約33%となると推定できる。

製図試験の合格発表では、合格占有率が公表されているが、これは受講者が多いと数値も高いので、合格率と勘違いしないようにしたい。つまり合格するには、資格学校内の33%に入る必要があり、受講者の3人に2人は落ちる現実も推定できる。

製図試験の合格率は、令和5年も令和4年も約33%です。

前述したように、全体の約9割がS社とN社の合格者が占めているので、製図試験の合格率33%なら両社の合格率も約33%となっていると推定できます。

製図試験の合格発表では、資格学校から「合格占有率」が公表されているが、これは受講者が多いと数値も高いので、合格率と勘違いしないようにして下さい。

つまり合格するには、資格学校内の33%に入る必要があります。

この現実には、資格学校では説明されません、受講者平等性から全員が同じ授業を受けて、実は3人に2人は落ちるなどとは言えないからです。

なお、製図試験に落ちた方は、資格学校の最高のお客様(長期製図講座の受講者)になるということも理解して下さい。

